兄いもうと（1936）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 60分
初公開日 1936/06/21

【解説】
室生犀星の短編小説『あにいもうと』を、江口又吉が脚色し木村荘十二が監督した「傾向映画」のひとつ。1953年に成瀬巳喜男、1976年には今井正が、それぞれ「あにといもうと」というタイトルで再映画化している。
寒村の川原で堤防を作る人夫頭の赤座には、妻と三人の子供がいた。長男の伊之、長女のもん、次女のさんだ。東京へ女中奉公に行っていたもんが帰ってくるが、彼女は奉公先で出会った小畑という学生の子供を妊娠していた。しかしお腹の子供が死産し、もんは家を飛び出してしまう。しばらく後、小畑がもんを連れて赤座家を訪れた。父親に止められ来ることができなかったことを詫びる小畑に、赤座は理解を示す。しかしたまたま帰宅した伊之は、小畑を土手に連れ出し暴力をふるってしまった。

【クレジット】

演出	木村荘十二	
原作	室生犀星	
脚色	江口又吉	
撮影	立花幹也	
編集	岩下広一	
音楽監督	近衛英麿	
演奏	Ｐ．Ｃ．Ｌ．管弦楽団	
出演	小杉義男	父　赤座
	英百合子	母　りき
	丸山定夫	兄　伊之
	竹久千恵子	妹　もん
	堀越節子	妹　さん
	大川平八郎	小畑

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.